

わがまちみらい情報交換会 実施報告書

- 1 日 時 令和2年1月18日(土)、19日(日) 13時00分～16時45分
- 2 会 場 長崎県庁行政棟1階 大会議室
- 3 概 要 地域コミュニティ連絡協議会による経過や活動発表、本会参加者による意見交換を行うことで、地域コミュニティ連絡協議会の設立・協議会による地域運営の推進を図る。また、市民活動団体からの発表を通して、地域と市民活動団体との協働の推進を図る
- 4 アドバイザー IIH0E [人と組織と地球のための国際研究所] 代表 川北秀人氏
- 5 参加者 300人(1日目160人、2日目140人)
- 6 発表団体

1日目 1月18日(土)

- 協議会 (1) 西北校区まちづくり協議会
(2) 戸町みらいまちづくり協議会
- 市民活動団体 (1) 西町校区コミュニティ連絡協議会
(2) 野母崎樺島地区コミュニティ連絡協議会

2日目 1月19日(日)

- モデル地区 (1) アスレティックトレーナー長崎県協議会
(2) とらねこ文庫
- 市民活動団体 (1) 斜面地・空き家活用団体つくる
(2) NPO 法人 環境保全教育研究所

7 実施内容

○ 開会挨拶

市長から、長崎市で進めている「地域コミュニティのしくみ」についてや、地域コミュニティ連絡協議会の設立状況など、地域のまちづくりについての話がありました。



○ アドバイザー紹介

IIHOE

[人と組織と地球のための国際研究所]

代表 川北秀人さんの紹介



○ 参加者同士で自己紹介

参加者のみなさん同士で自己紹介を行いました。



○ 地域コミュニティ連絡協議会の事例発表

地域コミュニティ連絡協議会の設立までのポイントや、現在取り組んでいる事業、今後の展望などをご発表いただきました。



○ 市民活動団体の事例発表

市民活動団体からは、地域での取り組み実績や実際に地域と協働する際のメニューなどについてご発表いただきました。



○ 質疑

協議会と市民活動団体の事例発表が終わるごとに会場の皆さんから寄せられた質問票（付箋に記入）を使って、川北さんの進行で質疑応答を行いました。

協議会の質疑では、協議会の立ち上げるまでの仲間づくりや、運営・事業に関する質問が出ていました。

市民活動団体の質疑では、実際に地域で活動をする際の費用や活動内容についての質問が出ていました。



○ 市長からのコメント

各団体の発表について市長からコメントしました。



○レインボーミュージックによる歌の披露

高島、伊王島、香焼、三和、野母崎で、地域の子どもたちと一緒に地域の愛唱歌を作っているレインボーミュージックの皆さんに、歌を披露していただきました。



○ アドバイザーからのアドバイスとこれからの地域づくりについてのお話

アドバイザーから各発表に対するアドバイスをいただいた後、将来の人口動態や他都市での事例を交えながらこれからの地域づくりについてお話いただきました。



○ まとめ

どの団体の発表からも、地域を良くしたいという熱い思いが伝わってきて、参加者の皆さんにもたくさんの学びがあったようでした。

最後に参加者の皆様同士でお疲れ様の握手をして閉会しました。



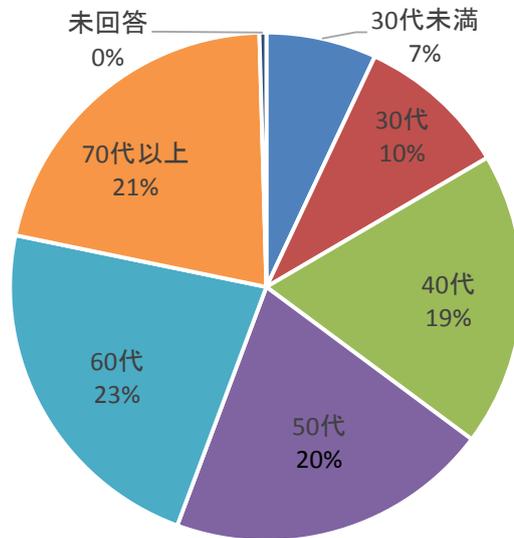
8 アンケート結果

別紙「アンケート結果」参照

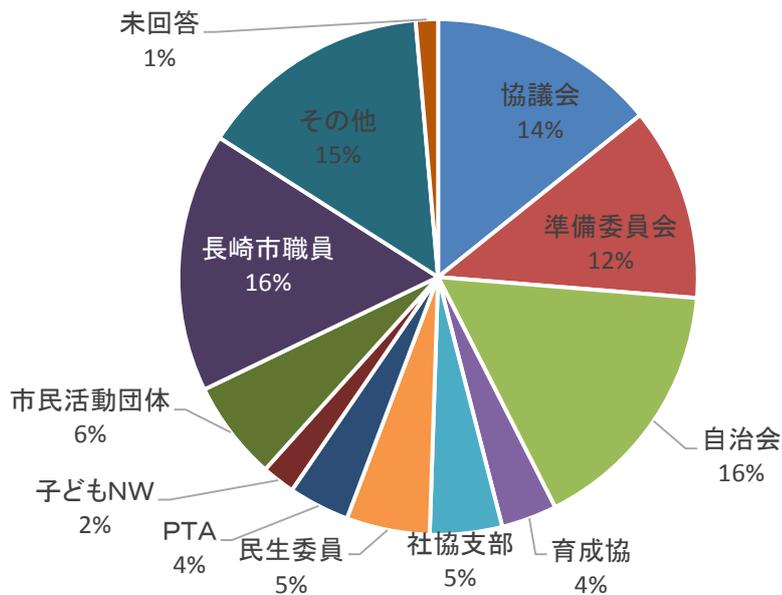
令和元年度 わがまちみらい情報交換会 アンケート集計結果

(回答者数 230人)

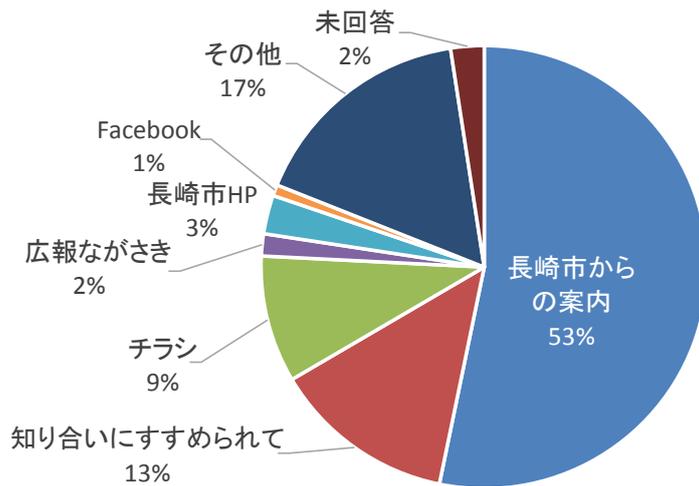
参加者 年代比率



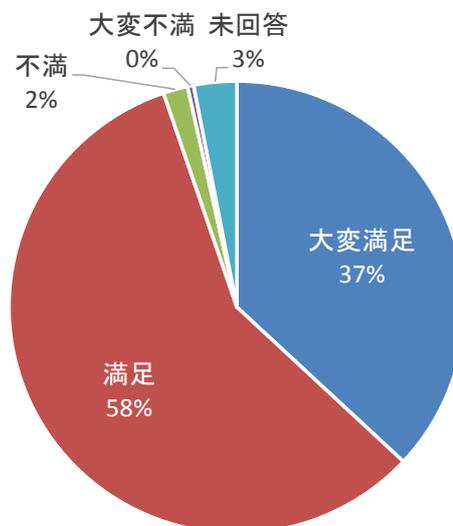
参加者 団体比率



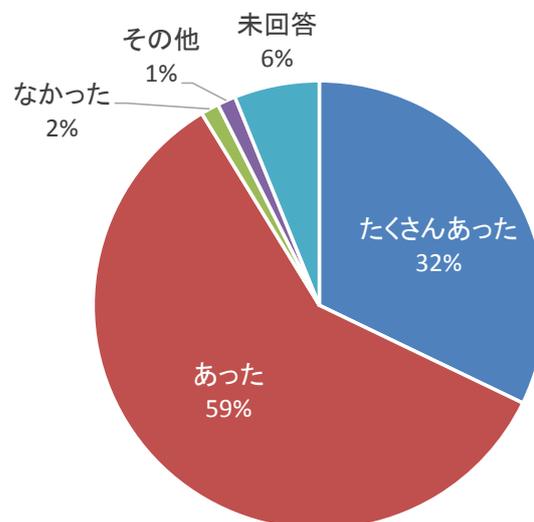
1 本日はどのようなきっかけでご来場されましたか。（複数可）



2 本日の情報交換会の評価について、当てはまるものを選んでください。



3 あなたにとって、活動のヒントや参考になることはありましたか。

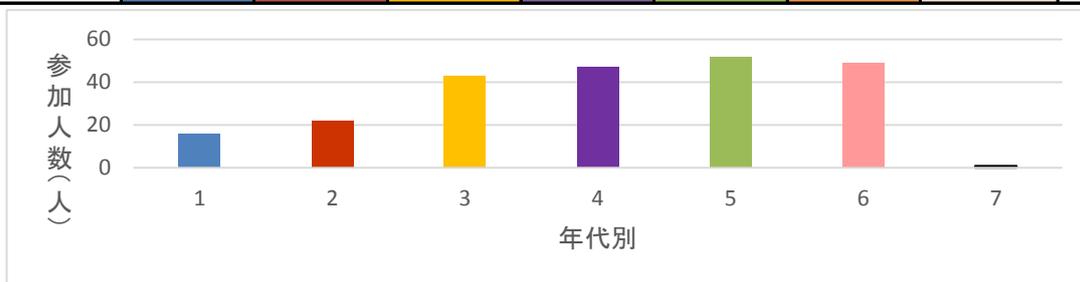


A 年代別クロス集計

回答者数230名（2日間）

参加者数と割合

	1	2	3	4	5	6	7	
	30歳代未満	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	未回答	
参加者数(人)	16	22	43	47	52	49	1	230
割合	7%	10%	19%	20%	23%	21%	0%	100%



所属団体

	30歳代未満	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	未回答	総計
協議会		1	6	9	10	15		41
準備委員会	1	3	5	4	11	11		35
自治会			1	2	21	22	1	47
育成協		1	2	3	3	1		10
社協支部					2	10	1	13
民生委員					9	5	1	15
P T A		1	8	2				11
子どもを守るNW		1	1	1	3			6
市民活動団体	2	1	2	2	8	3		18
長崎市職員	4	4	11	25	3			47
その他	10	14	10	4	3	1		42
未回答			2	1		1		4
総計	17	26	48	53	73	69	3	289

その他の内容 ※記載があったもの	市民活動センター、青年会、宗像市、長崎県、ふれあいセンター、消防団、唐津市、五島市、地域包括支援センター、佐世保市、県議事務所、県教育庁、長崎大学、中学校
---------------------	---

1 来場のきっかけ（複数回答有）

	30歳代未満	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	未回答	総計
長崎市からの案	9	11	23	31	29	29		132
知り合いのすす	1	2	5	3	14	7	1	33
広報ながさき			1	1		2		4
長崎市HP	4		2	1				7
Facebook					2			2
チラシ	1	3	5	5	5	4		23
その他	3	6	8	9	7	8		41
未回答			3	1		2		6
計	18	22	47	51	57	52	1	248

その他の内容 ※記載があったもの	公民館からの紹介、小規模多機能自治推進ネットワーク会議の案内 等
---------------------	----------------------------------

2 情報交換会の評価

	30歳代未満	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	未回答	総計
大変満足	9	12	18	22	14	10		85
満足	6	9	25	25	33	34	1	133
不満					2	2		4
大変不満					1			1
未回答	1	1			2	3		7
総計	16	22	43	47	52	49	1	230

3 活動のヒントや参考になること

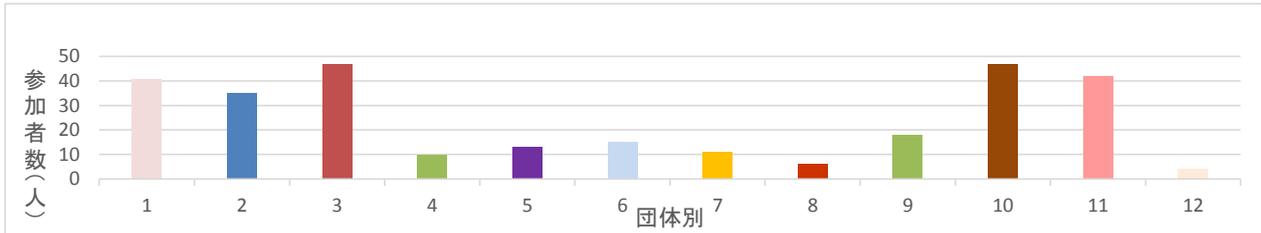
	30歳代未満	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	未回答	総計
たくさんあった	10	13	16	17	10	8		74
あった	6	9	25	28	38	29	1	136
なかった				1	1	1		3
その他						3		3
未回答			2	1	3	8		14
計	16	22	43	47	52	49	1	230

B 団体別クロス集計

回答者数230名（2日間）

参加者数と割合

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
	協議会	準備委員会	自治会	育成協	社協支部	民生委員 児童委員	P T A	子ども N W	市民活動 団体	長崎市 職員	その他	未回答	
参加者数(人)	41	35	47	10	13	15	11	6	18	47	42	4	289
割合	14%	12%	16%	3%	4%	5%	4%	2%	6%	16%	15%	1%	100%



年代別

	協議会	準備委員会	自治会	育成協	社協支部	民生委員 児童委員	P T A	子ども N W	市民活動 団体	長崎市 職員	その他	未回答	合計
30代未満		1							2	4	10		17
30代	1	3		1			1	1	1	4	14		26
40代	6	5	1	2			8	1	2	11	10	2	48
50代	9	4	2	3			2	1	2	25	4	1	53
60代	10	11	21	3	2	9		3	8	3	3		73
70代以上	15	11	22	1	10	5			3		1	1	69
未回答			1		1	1							3
総計	41	35	47	10	13	15	11	6	18	47	42	4	289

1 来場のきっかけ（複数回答有）

	協議会	準備委員会	自治会	育成協	社協支部	民生委員 児童委員	P T A	子ども N W	市民活動 団体	長崎市 職員	その他	未回答	合計
長崎市からの案内	30	13	36	8	11	6	6	6	4	36	22		178
知り合いのすすめ	6	6	9	2	2	6	4		6		2		43
広報ながさき	1		1							2			4
長崎市HP	1									2	4		7
Facebook			1								1		2
チラシ	3	9	3	2	2	1				6	5	1	32
その他	4	11	2			4	2		7	5	10	1	46
未回答					1				1	2		2	6
総計	45	39	52	12	16	17	12	6	18	53	44	4	318

2 情報交換会の評価

	協議会	準備委員会	自治会	育成協	社協支部	民生委員 児童委員	P T A	子ども N W	市民活動 団体	長崎市 職員	その他	未回答	合計
大変満足	18	12	13	2	5	4	6	3	8	19	19	2	111
満足	22	22	30	7	8	10	5	3	8	28	21	2	166
不満			3			1							4
大変不満		1											1
未回答	1		1	1					2		2		7
総計	41	35	47	10	13	15	11	6	18	47	42	4	289

3 活動のヒントや参考になること

	協議会	準備委員会	自治会	育成協	社協支部	民生委員 児童委員	P T A	子ども N W	市民活動 団体	長崎市 職員	その他	未回答	合計
たくさんあった	16	11	9	4	3	3	7	4	9	15	20		101
あった	20	22	30	6	7	10	4	1	9	31	21	3	164
なかった		1	1		1					1			4
その他			1		1						1		3
未回答	5	1	6		1	2		1				1	17
総計	41	35	47	10	13	15	11	6	18	47	42	4	289

2 評価について、具体的な理由は何ですか

(1) 大変満足と答えた方

具体的な理由
地域コミュニティ連絡協議会の設立までのプロセスは分かり、参考になった。 地域の連携の大切さを再認識できた。
立ち上げまでに十分な討議がなされているようだ。
人のつながりの大切さについて、改めて考えさせられました。
他の地区の活動とか聞いてよかったです。参考にしたいです。
協議会立ち上げが済んでいる地区の具体的な話が聞けたところです。 アスレチックトレーナーととらねこ文庫の話はとても興味深いものでした。PTAのみんなにも教えてあげたいです。
まちづくり協議会のことを知ることができた。 他地区の「にしきたまつり」がよかった。
活動の具体的な内容を聞くことができた
「アスレチックトレーナー」と「とらねこ文庫」の事例発表は地域のまちづくり協議会や社協支部の事業に入れ込むことが可能であり、大変よかった。
市民活動団体の活動を知ることができた。
他自治体の事例を参考にできた。 川北先生の話が聞けたことがうれしかった。
川北さんの話がフィットして勉強になった 頭に入れて5年後見据えてやっ行ってこうと思います。
住民全員へのアンケート 役員への申し送り書類作成
地域活動はボランティアと思っていたが、経営感覚(稼げること)が必要という考え方が新しかった。
川北さんのお話大変よかったです。
アドバイザーの助言+になること 努力されてる雰囲気伝わってくる。
川北さんの話がすばらしかった！！
地域に合ったやり方をやられている。 何がニーズかを調べる大切さを学習。
今からコミュニティを始めるところで不安がいっぱいでしたが、皆さんの活動を聞いて頑張る力がわきました。難しいことをしなくてはいけないわけではないということが分かりました
これからまちづくりを進めていく上での方向性が見えてきた。
各々の実践から自分たちの活動に取り入れるところが多々ありました。早速対策を考えたいと思う。

具体的な理由

次にやるべきことが勉強できたこと。

こんなに地域の活動に熱心に取り組んでいる人達がいることに感心しました。(感動?)

誰かがやる気を出して何とかしないといけないことを話し合いながらやっていく必要がある

地域づくりの新しい視点がもてました。

これからの地域づくり協議会設立・立ち上げのなかで、方向性がより具体的になった。

いずれの団体・自治体も、人口減少や高齢者の増加という共通の問題を抱えており、共感するところが数多くありました。そんな中でともに頑張っていこう!!という気持ちになりました。

他団体の方と顔見知りになった。

他地区の協議会の進め方・事例の共有ができる

たくさんの人と出会うことができた。
自分がやる課題が明確になりました。

自分の役割、どのように取り組むか、川北さんの話は引き込まれて事例を聞いて良かった。

先進地の事例がたくさん聞いて、これからの手順が見えてきた。

協議会の苦勞が分かった。

長崎県庁の近未来で組み込まれている問題点を包括して前進できている事を再度確認

やはり勉強になりました！ありがとうございました。

内容が充実

当自治会に大変参考になった。

「わがまちみらい情報交換会」
はじめての講演 とっても関心がわき、又の機会に聞きたいです。

なかなか連合自治会との差をつける事が難しいようである？ 地域により差があり多様な考えを持っていかなければ。資金の使用のしかた。

川北さんの情報量と分析、事例紹介は大変参考になった。

協議会の事例発表だけでなく、市民活動団体の発表も行うことで組織間のつながりや理解を生むきっかけになっていると感じた。良いPRの場になっている。

地域の意見をどのようにして集めるか、どう事業につなげていくか課題として、持ち帰る情報を多く得ることができた。

地域づくりで市民ニーズ把握が重要なのか理解できました。

具体的な理由

レインボーミュージックの時間は笑顔になって楽しかった。

地域と市民活動団体の連携が大切だと学びました。

事例発表を通じて、地域の人たちが一堂に会して、それぞれの問題点、課題を考え、解決しようとする取り組み自体が非常に有意義であった。

自市にない活動、事例を知ることができた。

地域の実情がわかってよかった
今後の活動に何が必要かが分かった

ファシリテーションの技術に基づく工夫がされており、良い雰囲気効果的に参加者の意見を引き出すことができていたと思います。

行政と協議会との関係性の参考になった。
協議会として円熟するためには、行政のスキルアップとフォローは必要だと感じた。

付箋を使って意見を集める方法がおもしろかった。意見もたくさん集まっていた。
長崎市で意見を集めるときによく使われる手法を聞き先進的で驚いた。

川北先生のお話を初めて聞かせていただきましたが、目からウロコ！メモが間に合わないほど多くの参考となる、勉強になる情報を頂けたことに感謝です。

事例が知れた。また、いろんな地域(自分の担当地区など)の方にあえた。

コミュニティ協議会の活動事例や抱えている課題を具体的に聞くことができ、それに対して講師からのコメントを聞いて参考になった。

自分が担当していない地区の実績、事例を聞いたこと

各地区の活動を知ることができた。

協議会を運営しているところからの実際の取組状況や問題点の紹介などを聞くことができ、今後協議会を運営していく予定のところ非常に参考になったと思う。

各地域コミュニティ連絡協議会の創意工夫がわかり、また、共有できたことはとても良かったと思う。

市民課活動団体の活動を具体的に知る機会となって地域の各種団体の活動をサポートできることも分かったので、地域にも積極的に紹介をしていきたいと思った。

NPO等市民団体との関わり

地域マップづくりの作成支援、精霊船作成支援があることが分かった。

地域の協議会の方が来られており、多くの気づきを得て大変参考になっている件。

地域の具体的な話と、川北先生の理論やアドバイスを同時に聞いて良かった

自身の仕事にもつながるヒントが得られた。

自分の地区も準備委員会となっている。先進団体の取り組みは大変参考となった。

具体的な理由

連絡協議会の設立者より直接話を聞いたこと。

改めて自分たちの自治体地域の危機感と各地域によって課題が違ふこと、またそれに即した解決案を検討する必要があると感じた。

(2) 満足と答えた方

地コミ立ち上げの参考になった
講話が為になり、やる気ができました。

取り組み方や協議会発足のやり方など

西北地区と戸町地区コミュニティの設立から活動内容を聞いて参考になりました。

地域コミュニティの団体事例については立ち上げからの段取りなど参考になった。

ワークショップの持ち分
協議会の体制づくり

協議会立ち上げに向けて参考になる場所があった。部会型が良いのかネットワーク型が良いのかと考えていたが、世帯数が多いところはやはり部会型が適していると判断できた。各種団体の事業を地コミとしてサポートする対応もできること。

地域の人を巻き込んでの話し合いをしているところ。

各地域の事例が聞いてよかった
地域づくりのヒントをたくさんいただきました。

地域の活動

地域コミュニティの活動を具体的に垣間見ることができた
若い人の活動を知ることができた

他地区協議会の活動状況を知ることができ、これから活動していくにあたり、参考となりました。

他地区の具体的な事例を聞くことができた。

他地域の活動内容が分かった

具体的な活動内容が知れてよかった

それぞれに手探りの中で進んでいるのがよくわかりました。

具体的な事例発表

部会の種類、事業の内容

地域の取り組み、市民活動団体の取り組みが、地域課題の解決につながっているところ。

具体的な理由

協議会の活動事例を聞け、意見も聞くことができたし、より発展していくための川北さまからの講義もあり、よかったなと思います。

地域コミュニティ連絡協議会の取り組みを知ることができ、良かった。

昨日から引き続き、市内で活動する団体を4つ知ることができた。若い人が長崎の中でサポートしていこうとする姿がたくましいと感じた。今後もっとPRをして行ってほしい。

実際に行われていることが聞けて、良かったです。

各地区の取り組み方にいろいろな方向からの引き出しがあることを学びました。自分の地区に合致するか、帰って考えたいと思います。

色々な活動があって勉強になりました

地域の人材発掘が大変だなと思った。

自治会間の連携

レインボーミュージックの歌が最高に良かった
自治会でもやれることが多々ありそう…

市民活動団体の発表が良かった

川北さんの話は何回聞いても参考になります。

川北先生の講話は大変参考になった(スケジュール表の作成)

参加された皆さんも熱心に聞いていました。川北さんのコーディネートも大変よかったです。

生きがい⇒稼ぐ
自治会(高齢者)が稼ぐようにしたい

コミュニティづくりにおける歴史・人口・地形・住民の構成、意識等が大切

イベントより地域の方に直接役に立つなど身近なこと

川北さんさすがです！
RainbowMusic頑張れ！！

発表されたことに対して具体的なアドバイスをお聞きすることができてよかったです。

将来予測より取り組みの必要性が分かった。

結成へ向けた実情と苦勞がよく分かった。
協議会は参考になった。

西北・戸町の取り組みを聞いて良かったです。苦勞話をもっと聞けたら大変参考になります。

地域それぞれの事情があって悩みながらも地域を良くしようと活動されている方がたくさんいるのだと分かった。

具体的な理由

皆さん前向きで、情熱を持って活動されていました。

皆さん頑張っているところ

いろいろ地域の為に工夫・実行されているのを聞き、前向きの実行力を学ばせていただきました。

今後どういうポイントを進めるべきかわかる。

進む先が少し現実的に見えてきたから

皆さん、老人や子供たちの為にいろいろなことに取り組んでいらっしゃるなと感じました。

みなさん大変頑張っているなと感心致しました。

他地区の施策を理解するのによい会と思う。

自治会運営の考え方を考えていかなければならない。

自分の自治会活動に参考になるところがありました。

地域を大事に思う気持ちが伝わってきた
自分のできることをして関わっていききたい

地域コミュニティの発表で、それぞれの地域で頑張っておられる姿を見て、また、学生さんやNPO法人の方々が支援されているアイデアなどを聞いて元気ができました。

今後の活動方針の参考

他の国体の活動を知ることができて、良かったです。
これから活動をしていくなかで、参考にさせていただきます。

初めてお会いする方が多数いて良かったです。このような情報交換会を増やしてほしい。

具体的な情報交換ができたので良かった

若者の考え方を聞くことができたこと、又、もっともっと行動を起こしてもらいたい。

色々な活動、意見等を聞いたこと

他の地区の情報内容
他県の情報内容

様々な情報が得られる

いろいろな情報・意見などを聞いてよかった。

よその団体の様子が分かって良かった！

具体的な理由

まだまだ勉強中なので、いろんな話を聞いて良かった

特殊性のつよい2団体の発表であったと思います。

事例報告によって知識が広がること。
専門家の知見を学ぶことができること。

自分達の地区もやっているのですが、大変よかったです。

総合的に考えられることが分かった。

長崎に転入して日が浅いので、長崎の地域の様子を知ることができた。

現在協議会設立準備委員会の委員をしているので、西町・樺島の発表は今後の参考になった。

発表地域の規模が私の所より大きいため、どうかな？

他の校区の協議会が色々あるのだなと思いました。

住民の意見を聞く場づくりアンケートで地域の課題をつかみ、地域活動を進化させていくことの重要性を再確認できてよかった。

事例発表以外にも各地域で頑張っている方との出会い・再会があり、情報交換ができた。

川北さんの講話で今後活かそうなものを見つけることが出来た。大変ためになった。

佐賀市に今のところ無いネットワーク型組織体制について知ることができた

西北まち協と戸町まち協の話を聞いて大変参考になりました。(協力隊やミライトーク)

具体的な活動発表とアドバイザーの助言が連動していて参考となった。

気づきがあった。
例)まちづくり協力隊の編成(西北)
60団体が加入⇒1人でも多く参加できる体制づくり(戸町)
産業の中心に合わせた日程調整(野母崎樺島)

多くの団体(管理組合まで)を加入させている(戸町)、まちづくり協力隊(西北)の事例を聞いた(気づきがあった)

事例を知れた

協議会の話を聞いた。それに対してのアドバイスも聞いたから。

班内でもう少しワイワイガヤガヤ話す時間があつたらいいなと思います。

生の声が聞ける点は大きい

具体的な理由
地域の方の生の声を聞いた。
他地区の取り組みや市民活動団体の取り組みを知ることができて、自分の地域に活かしていきたいと思います。
つくる邸さん・環境保全教育研究所さんの活動を知ることができた。
事例発表にプラスして川北先生のアドバイスが今回も参考になった。
事例発表での活動の困っている点など
協議会でどのような事業をしているのか聞いて良かった
色々な活動をされている団体があるのだと思いました。
川北さんの講演内容が良かった。(事例の紹介)
協議会結成までの苦労と結成後の成果を聞くことができた。
各団体の活動の実態が把握できた
いろいろな団体の話が聞いてよかったですと思います。
休憩中のレインボーミュージックが大変よかった。「歌でもっと地域の活性化(自治会含め)ができないか、考えさせられる。川北さんの高齢化の分析と事例紹介。
テーブルトークの時間がもう少しほしかった。
もっと具体例が欲しい。西北・戸町両地区とも！
設立までの経過はもう良い。その後の具体的な事業の説明が欲しい。
昨日に引き続いての参加なので、やはり… もう少し、テーブル内でワイワイガヤガヤ話す時間が欲しかったな。

(3) 不満、大変不満と答えた方

両地域とも成功したことを説明していた。もっと苦労した話しが聞きたかった。
<ol style="list-style-type: none"> 自分たちの町・地域に参考になる事例発表がなかった。 苦労した事例発表が少なく、きれいな内容の発表が多かった。 悲観的な将来見通しも本当はあるのでは？
設立に向けて苦労したことが聞けなかったのは、設立に向けてある程度の下地があったからではないか。ゼロからスタートするのは、難しいところがある。

具体的な理由

時間が長く、重かった。

発表を1団体にして(その場で質疑応答がしたい。時間不足。)

(4) 未回答

質疑応答で、多くの意見を集約して質問して下さったところ。
発表だけにとどまらず、連絡先を記載することで、発表側も聴取側も次につなげていける(連携できる)ようになっていること。

まちづくり協議を立上げられた西北・戸町地区発起人役員さんに敬意を表すのみです。持ち帰り、どこまでできるか努力してみたい。

普段交流がない方たちと「まちづくり」というテーマでお話することができ、知らなかった有益な情報を教えていただくことができた。

小学校区を基にコミュニティが形成された場合、今後統廃合が重ねられる可能性が高いと思う。むしろ郷土を愛する心を醸成することが最も大切だと思われる。

3 今後の活動の参考やヒントになったことは具体的にどのようなことですか

内容
コミュニティの意義を共有できるメンバーをどう増やすか。 ワークショップで出てきた課題をどう事業計画へ反映させるか。
集まって話すことから始まることの大切さが分かったこと 将来に備えて何が必要かを考えて地域づくりをしていくこと
ウォークラリーの方法 子どもを入れたワークショップのしかた
発表団体全て今後の活動に活かせるので勉強になりました。
「西北まつりの予算組み」は参考になった 「読み聞かせ」は、子どもから大人、高齢者まで良いなと思いました。
地域に密着した活動のやり方
テーブルが一緒になった他都市の方との話がありがたかった。西北まつりの商品の良さ(人を集める目玉としていいと思う)
これから先はもう少し具体的な活動をしていかなければと思いました。
子どもの健全育成に関する話とか内容が勉強になりました。
行事に参加していただくためにパンフレットに抽選券を作った。⇒参加して頂くために楽しい目的を持たせる。 戸町のとまちっこクラブで子どもの遊び場提供の件で子どもたちとの触れ合いが大事と思った。
今まで行っている(社協)行事等の交わりが割りきれなかったが、上乘せ行事をするといいのだと感じました。
野母崎樺島町は地域の状況が高島町によく似ていて参考になりそうです。「生きがい」…なるほど!と思いました。
地域づくりの具体的な取り組みによって、こちらの取り組みのイメージが持ちやすくなった。
どういことが行われているか、どうやって行われきたかということ。
現所在地コミ立ち上げ中で、今月に総会を実施します。 活動中の事業を参考にし、活動していきたい。
樺島灯台ウォーキング事業(有料イベントも必要かも)
事例発表
質問は同様のものが多いこと、運営については進めていくこと第一で、焦らず動かしていくことを感じる
協議会の進め方。
運営の方法、金額の設定
若い人の力を借りる協力隊が参考になりました。
自治会と協議会の分担がどのように行われているか参考になった

内容
協議会運営について参考になる取組が多々あった。
部会の推進
公報の方法
組織編制のヒント 現在ある活動の事業化の可能性
責任者への手配り案内 さるく事業
地域の人材不足、負担軽減についてのヒントが得られたこと 等々
ラインの連絡方法、会議の忙しい方も参加するためにとっても良いことだと思う。
10年後を考えながら、若い世代も巻き込んで地域づくりを行っていく
LINEやICTの活用
LINEを使用するのは自分も考えていたが、実際に行うとなると難しいと思っていたがやろうとおもった。
コミュニティづくりにあたり、各団体との連携が必要
高齢者の方たちが、地域にとってまだまだ必要な存在なんだということを伝えることで、一緒に地域で取り組んでいくこと
イベントを通じて各世帯を回る事でつながりが生まれる
多年齢への働きかけ
各団体との付き合い方。
人集めの方法
今後どのようにしていくのかでヒントになるかどうかわからない。
いろいろな立場の方たちと話し合いの時間をもちたいと思います。
地域の中でのコミュニティづくり 助成金制度の種類を知ることができた。まだ可能性があると感じた。
金銭面の工夫 活動⇒将来を見ずえて、今何をすべきか、何が必要かということ。
活動を決めてからの予算を決める。
役員の意識向上が必要と考えさせられた 空家の活用

内容
地域に眠っている宝物を見つけることと、空き家の再生のお手伝いなど、とってもおもしろかったです。
育成協の活動に関わっていますが、講演会等の活動のかわりにアスレチックは良いなと思った
スポーツ・運動面・本の読み聞かせ
「本の読みきかせ」など
予算のつくり方。 市民団体の活動。
自治会活動において、NPO法人等の活用事例等を聞いて、今後の活用を考えたい。
空家とか多くあると聞いているので、若い方とかの意見が聞けてよかったです。
NPOと協力してできるまちづくりも考えるようになった
各事業別に偏りがちな面を解消する為に全員集合の会を設ける 中学生以上の全員アンケートで住民意向等を調査する。
川北さんの話の全て、特に「にぎわいを支え合い」に変換することの大切さ。
全住民アンケート 、 イベント内容
川北先生のお話で、人数より効果(質)が大事だということがこれから事業を行う上で参考になりました。
川北さんの対策の話がこれから先の考え方ですかね。
講師の先生のお話について十分に吟味し、まとめてみたい。
地域に必要なこと、どのような事業を行うべきかと考えるときまずは地域を知ることの必要性をとっても強く感じました。その為に何をしなければならぬのか？を仲間とみんなで考えたい。
生涯とは儲けを産む！忘れません。 つくるの活動で少し目が覚めました。(笑)
全住民調査
自分達がやっていることがどの段階であるか確認できた。
川北さんの話に合ったデータを読み解くこと
地域を元気にするには「稼ぎ」が必要。Ikigai！ むずかしい…
他地域との差別化 外部団体の力を借りることも大きなpointか。
地域と経営していくという考え方が入ってきました。小さなことから始めていきたいと思います。
川北先生の話から「地域に合ったメニューを考える」という話

内容
調査をして知ることが必要
イベントの成功が町づくりの一步と思っていましたが、それらを踏まえて地域住民の希望を聞く全件訪問は必要だと参考になりました。検討事項したい。
引継書
川北先生の説明が良かった。
足で稼いで地域住民の要求を聞くことの大切さがわかった。
イベントは手段。賑わいを作るのではなく支え合いを作るとの言葉が印象に残りました。
全住民調査 全戸訪問
自治会年間スケジュールを作成したい
事業のパンフレットに抽選券を付けることが参考になった。今後、取り入れようと思います。
自治会年間活動計画表の作成
川北秀人さんによる講話はコミュニティの活動について、活動の質の内容を深く指摘され大いに参考になった。
川北さんのお話で「生きがい」地域で稼ごうという考え方は、目からウロコです。いろいろ地域で取り組みたくなりました。
お金かせぎをすること
「生きがい」、好きなこと得意なこと、世間が必要とする稼げること
今後の活動の参考になりました。 全住民アンケートを自分たちの地域でもやって頂きその内容を共有してほしい。
今後の人口の推移
地域の負担を軽減する方法 地域課題の取集や分析などは指導してくれたり請け負ってくれるところを要するところもあるとおもいました。
「住民の生きがい・満足度」を高めるために自治会などの国体が何をすべきか。継続から深化・進化を目指すことが大事
川北先生のお話にとっても共感しました。
運営と経営を考えて事業計画が必要 生きがいを見つける
生きがい、稼ぐことの大切さに気付いた。
川北さんの話は、私が思っていることと同じだったので確信になった
地域でどんなことができるのかを考えるきっかけをもらいました。川北さんのお話は、前にも聞いたのですが、新しい情報がいろいろあって、とても興味深かったです。
川北さまの資料別紙は自治会(消防団)の活動の振りかえりにもなり、足りないところを見つけられると思うので活用したい。

内容
協議会設立後の問題点、又今後の展望につき、知ることができ、参考となった。
それぞれの地域の苦勞が判るし、地域間の交流が少なくなっていくのをどうすれば良いのかを理解するのに良い。
協議会としてかかえている問題が同じで、それを乗り越えてこられてきていることに共感できた。
自治会のあり方
地域の高齢者と一緒に七草がゆ作りなどされているのや、又は郷土料理等も若い人に伝えられたら良いなあと思いました。
地域それぞれで求められることがちがうということ。
今する事。しとくべき事、していく事が見えてきた。もっと話を住民としていく為。
上記でも記述したが、まちづくり協議会、社協支部、サロンなどで出張講座で頼みたいと思いました。
コミュニティが高齢化していく中で、メンバーの皆さんにできないところ、かゆいところに手が届くようなサービスをしている団体が必要とされていることがよく分かった。それを担う人たちは、自治会というより民間である方が負担なく良さそうだ。
発表を聞いている方々の反応や質問内容から、どういったことに感心を持たれているのかが分かったこと。
貪欲に頑張れる基盤がある事に感謝
後で考えながら
今後のコミュニティ立ち上げに大変参考になる
高齢化を考えさせられた
4つの活動報告があり、団体の構成によって内容・目的を考えていく時期に来ていると改めて感じました。私たちの地区も少子高齢化の田舎なのでしっかり考えていこうと思います。自分ひとりでは何もできないので集まりの協力を引きつけていければなあと考えます。
地コミの発表では運命共同体と感じられた。
地域おこしの為のいろいろ方法を知ることができたこと。このような地道な活動が、ふるさとを盛り上げる力になると思います。
それぞれにヒントはありましたが、立ち上げるにあたり多くの問題にぶつかると思います。その時点で思い出して参考にしたいと思います。
運動会と防災活動の連携。敬老会とカラオケ大会。デポジット制と地域通貨。講座から相談へ
発表団体や講師の川北さんから事例を様々聞くことができとても参考になった。
協議会が具体的に何を目的としてどのような活動をしているかをしることができた。
事例発表
会議の呼びかけや事業実施の考え方など参考になった。

内容
各地域で取り組むべき課題や問題があり、地域独自の取り組みをされていることが再認識でき、今後の参考になった。
負担軽減や動きやすいシステムを作ることが必要である
行事よりも支え合いが大事
アスレティックトレーナー長崎県協議会やとらねこ文庫の活動は地域の活動で活用することができると思った。レインボーミュージックの生歌を初めて聞いたが元気になる曲で良かった。長崎を盛り上げて行ってほしい。
NPO等のまちづくり団体から直接話を聞いたこと。 川北さんの「生きがい」と「お金を稼ぐこと」
参加者数よりも質
川北さんの話が興味深かった
自治会長引継ぎ表。協議会の活動内容。体制。
アンケートの必要性というのがとてもわかった イベントを行って満足ではなく、その先が大事ということがわかった。
特に講師の話の中で”地域を元気にするには稼ぐことも大切”というのは確かに重要だと思います。
賑わいから支え合い
生きがいを育てるため稼ぎをつくる
活動内容、及び、それに対する川北氏のアドバイスがまち支援を行う上で大事にしていきたい。(行事⇒支えあいをみこすことなど)
量と”質”の成長
全住民調査のような調査の重要性など…
アドバイザーの行事と会議の棚おろし表など
川北さんの話で、自分の自治会に当てはめられればやっていきたい
自治会の引継表は市の職員の業務でも使えると思いました。
他都市の事例。
まずは入念な地域状況の把握
他都市の事例 実効性を求めていくこと
ネットワーク型…共有を増やす 連携の作り方、作っていく過程
生きがい⇒稼げるか を研究したい。
量も”質”も成長させる

内容
生きがいを作る。稼ぎを作る。地域コミュニティは経営の観点から取り組まなければならないということ。
根拠を示して説明することの大切さ 今後の地域活動は今までとは違う形で変化させていかなければならないこと
先を見ないといけないし、地域の特性を良く知る必要がある。
色んな所で情報発信がされているのでこまめに情報収集しようと思いました。
自分が暮らす地域にも還元できるかも。
どの地区も似たようなことで悩んでいる事(情報共有・人材発掘など) 地区外の人巻き込んでいる事例(協力隊)
来年度事業で川北先生をお呼びする機会があるので、その際の参考にさせていただきます。ありがとうございました。
計画を作るだけでなく、活用する手法や事業を評価する手法を知ることができた。
唐津でも発表会をやれないか検討しています。意見出しや流れ、講演と合わせて開催するところは、かなり参考になりました。
協議会発足に向けての初動について参考にしたい。
地域活動における稼ぐことの重要性が分かった
コミュニティ活動の在り方、やり方の事例をしっかり学ぶことができた。
川北さんの講演 全住民調査 自治会長引継帳
協力隊・ミライトーク・アスレチックトレーナーの活用もできるという情報。川北先生の話は大変勉強になりました。今後のまち協支援のヒントにしたいです。
つくるさんと、へんちくりんさんの取り組みは大変参考になりました。
「生きがい」の創出について。
中学生以上市民アンケート 事業は質を高めよ イベントは賑わいも大事だが、支え合いにつなげるのが更に重要
「地域でやるべきことは、役員が決めることではなく住民が決めること」 ⇒全住民アンケートの重要性
取組事業の質を大切にしようと思った。
全住民調査は特に実施してみたい。
全住民調査の重要性、イベントはあくまで手段であり、支え合いにつながる仕組みが必要であること。
今後の地域づくりには「生きがい」「稼ぐ」ことが大切だと学びました。
地域コミュニティに関わる方とのつながりができたので、それを活かし、今後の地域活動のヒントとして地域の方に提示できる材料となった。

内容

アスレティックトレーナー・とらねこ。今後の協議会事業として活用できる。
まちづくり協力隊
サンタクロースで訪問

- ①住民の声を聞く場づくり⇒地コミ協議会の設立
- ②住民の声を聞くアンケート⇒全住民アンケートの実施
- ①②を検討していきたい

4 その他、ご意見・ご要望・感想等

内容
会場が狭かった
休憩は休憩時間としてほしい。(RainbowMusicさんが素敵すぎてトイレに行けない…) 本(CD)を見る時間、他地区の方へのあいさつなど…
今回のプレゼンの様子を音声もしっかりとってネット配信してほしい。来たくても来れない人にも見てもらいたいの。後ろの方からはスクリーン下1/4が見えない(上げてほしい)
年1回この情報交換会をしているそうですが始めて間もないところ、特に自分。わからないことだらけなので年3回はやってほしいとおもった。
市北部での開催を是非お願いしたい。
議員が来賓として来られている意味がよく分からない。来賓ではなく、我々といっしょに参加するべきではないか？顔売りだけなら不要では？
長崎市はもっと良い人材の確保のための予算を考えてほしい。
市民活動団体の活動報告がありましたが、ランタナ大賞などをはじめとした市民協働推進室のイベントと重複しているような気がします。コミュニティ協議会や自治会活動などの事例をもっと多く聞きたいです。
後の2団体の紹介は意味が分からない
会の運営がセレモニーに終わり、本質的な理論がなされないままであった。
補助金の種類、使い方を親切丁寧に知らせてください。
斜面地・空き家活動に興味があり参加したが、利用価値のある空き家・ない空き家の別があり、ただの空き家の活用はどうしたら良いかをもっと深く聞きたかった。
かけ足で、話の内容がまとめきれなかった。たくさんの市民に理解してもらえる内容にする。少人数の人にだけ知らせても効果が薄い
レインボーの歌は本格的で聴きごたえがあった。指導助言は相変わらずきめ細やかで良い刺激になった。
レインボーミュージックの歌は迫力があり良かった。今後の指針にもなりました。
とらねこ文庫に関する話は勉強になりました。参加者が多かったのには驚きました。
途中のレインボーさんの歌はとても良かったです。長時間の会議も楽しく最後まで参加できました。
レインボーミュージックさんを応援していきたい
司会の人にいろいろお願いしたら、とても感じよくしてくださいました。ありがとうございました。 高島のレインボーミュージックの方たちの歌が聞けて良かったです。
和やかな雰囲気、居心地の良い研修回でした。 レインボーミュージックも初めて聞きましたが、とても素敵でした。

内容

川北様のご意見は毎年、私には必要です。
長崎市民に必要なことです。

川北先生の講義は、何度でも受けたいです。
様々な地域の事例発表を聞きたいです。

勉強になりました。ありがとうございました。

十年後を考えていく事の大事さを感じるいい機会になりました。

我地区は単体地区で問題は自治会の加入率が50%を切っており、又会員増加も見込めない状態である。今後地域コミュニティと自治会の活動にどうバランスをとっていけばいいのか迷っています。地域コミュニティー体で行った方が良いのでは。

コミュニティ活動のやり方については勉強になった。

自治会の会長のなり手がいなくて順番制で区ごとに受け持つことになっているが、そうすると困るので自治会をやめる人が出て悩みの種になっている。

一丸となって協力されているところが良かった。
これ以上忙しくなると言う方もいて進行が難しい。30団体(地区)などでの情報交換を各分野でしている段階です。
絵本はお遊び教室の中で毎月読み聞かせをスタッフでやっております。ちなみに素人ですので無料です。

アスレティックトレーナー長崎県協議会として発表の機会をいただきありがとうございました。域での役割やかかわり方、課題を多く見つけることができました。今後とも、ご指導よろしくお願い致します。

講習を聞きっぱなしにならないようにいろいろな人に伝えていきたい。

やはり、参加することに意義があります

自治会関係で年配者が多かかなと思ったが、若い人が多く良かったと思います。
お疲れ様です。

リーダーの方は毎日が大変ご苦労されていますので、くれぐれも体に注意して活動してください。

より良い地域を作るため、頑張っている方が多いと感じ、発奮させられました。

こんな機会をありがとうございます。

いい研修でした。ともに頑張りましょう！

「地域」と「市民団体」をつなぐような、今回のようなイベントをたくさんやりたい！！

地域のニーズを丁寧に調べ、何に困っているかを把握することの重要性が認識できました。あまり時間も残されていないようです。負担なく必要を埋める活動を1つ1つしていけたらと思います。

立ち上げは必要とは思いますが、自治会の多くの問題点をどのように改善できるか？指導的役割できる人材の確保？？

設立前なのですべて参考になりました。

「地域を元気にしたい」と思う方々に会えて力をいただきました。

役員、スタッフの方々、お疲れさまでした。

内容

回を重ねるごとに、充実した研修会になっていることがうれしい。

長崎市だけでなく、九州各地からも参加者がいてよかったです。気づきは書けるが提案は難しかったです！！「共有のメリットを生かす」「イベントを減らす」ことが大事ですね。

地域の役員さんにもっと参加いただければよかったですと思います…

今後、地コミの立ち上げや継続支援も市として頑張ってもらいたいと思いました。地域格差が生まれそう。

自分の地区と同じような環境で活動しているところを探すために、長崎市が先進地の見学会を作ってもらいたいです。

確かに行事、組織の編成についても考えていく時期なのでしょうね。たくさん学べました。ありがとうございました。

地域の主団体の長が一声をあげ、5人程度の統一した意識必要

大変有意義な時間を過ごすことができました。参加してよかったです。ありがとうございました。

人にやさしい長崎の特性を生かして、障害者やLGBTの方々に配慮したまちづくりができていけばと思いました。

今年初めて参加させていただきました。

地元にはない活動を知ることができたこと、川北先生の講話をお聞きして、より考えていくべきことを感じることもできたと思います。ありがとうございました。

長崎市さんとともに宗像市もコミュニティ施策、市民協働の取り組みを市民とともに頑張りましょう。本日はありがとうございました。

お世話になりました。ありがとうございました。

今後とも何卒よろしくお願いいたします。

人口減、高齢化がより進んでいる地域の事例を教授願いたい。

私が担当する高島町はまだ準備委員会が立ち上がったばかり。ワークショップもまだ1回開いたばかり。これからどうなるか不安が尽きませんが、すこし勇気をもらいました。

グループで来られた方が同じテーブルになっているのが多いようでした。気持ちはわかりますが、少し残念に思います。なかなかばらばらに座ってほしいというの難しいと思いますが。

しっかり学ばせていただきました。ありがとうございます。

バラエティーにとんで楽しかった

協議会の立ち上げに至るまでの話を聞きたい。住民の機運が盛り上がらないので。

地区事例がもう少し多くあると良かった

レインボーミュージック初めて見ました。地域イベントに呼べる。非常に良かった。

時間がおして川北さんの話が短くなったのが残念でした。

内容

時間配分を守れるように。ワイヤレスの立ち位置を事前にチェック。

いつも川北さんの話を聞き、学ばせていただいています。地域活動につなげていきたい。

峰さんのMCがすばらしい。

もう少し時間を短縮できれば

今後も開催していただきたい。

事例発表を3件にして、川北さんの時間を長く

高島町の地コミ、担当職員として不安はありますが、野母崎樺島町の事例を聞いて「できることから」と改めて少し勇気をもらいました。

昨年から市民活動団体の活動報告・紹介を行っているが、何かしら地コミ連絡協議会につながったか状況報告を行っても良いのでは…と思う。

土曜日と対比的なネットワーク型の2地区で協議会の規模も異なり、2日間聞いて参考になりました。

意識改革を地道に広げる事と底辺の人材を地道に広げる。

出席者名簿の提供を事前に頂きたかった(担当地区の出席)

もっと市北部で実施してほしい

質問に対し、別に答えてもらい、それを見せていただければ助かる。

協議会が2つともネットワーク型の地域だったので、違いを分かってもらうためには部会制とネットワーク型のそれぞれの紹介があった方が良かった。